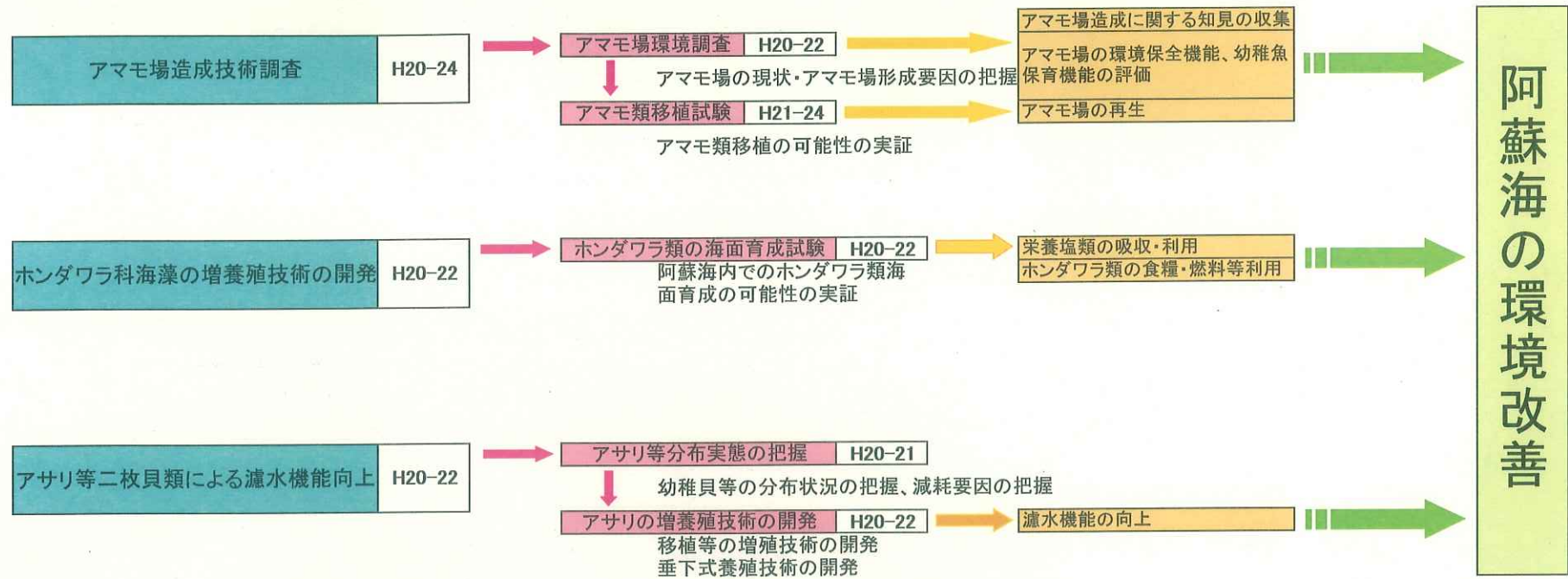


調査概要フロー図(海洋生物を用いた阿蘇海環境改善技術の開発(海洋センター))



# 阿蘇海環境改善技術開発調査に係る全体フロー図

## 阿蘇海の現状

- ・流域下水道の整備やシーブルー事業（覆砂）等が行われているが、水質悪化に歯止めかからず
- ・夏期に臭気発生（アオサの腐敗、硫化水素臭）
- ・漁獲量の減少

丹後の観光シンボルである天橋立・阿蘇海の環境を守り、改善していくため地域住民、関係団体及び行政が連携強化、地域一体となった取組を推進。

阿蘇海環境づくり協働会議設置  
（事務局；丹後広域振興局）

地元・民間・行政で連携して取組実施

委託(H19)

阿蘇海流入負荷量調査(京都大学)

府：シーブルー(覆砂)事業  
(港湾事務所、H30まで)

アマモ場造成・アサリ増殖と連携

管内市町：下水道整備の促進等

海洋生物を活用した  
環境改善技術開発  
(海洋センター、  
H24まで)

地元関係者による活動

清掃活動、アマモ移植等(NPO等)・  
漁業活動(漁業者)

当初目標案  
二枚貝漁獲量:2割アップ  
海藻分布面積:2割アップ

## 目指す阿蘇海の姿

水質の改善  
アオサ腐敗臭の改善  
漁獲量(生物多様性)の回復

## 天橋立との一体的整備

観光地の景観・環境改善  
世界遺産への登録

協力・貢献